



目と身体と脳をつなぐ

# ビジョントレーニング

**【第12回】 極めて実践的なトレーナー養成講座①**

 一般社団法人 日本ビジョントレーニング普及協会理事 **横田幹雄**

**窮余のオンライン講座に  
思っていた以上の反響が**

私も日本ビジョントレーニング普及協会では、設立当初から、発達に「まずきのあるお子さんの支援として、保護者に向けてトレーニングの実践講座を開催してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、すべての活動を中止せざる得ない状況に陥りました。

しかし、「このままでは普及活動が頓挫してしまう」「何とかして一人でも多くの方に、子どもの発達と「見る力」の関係について知っていただきたい」という強い思いがあり、SNSで「おうちにいながら学んでもいいませんか?」と呼びかけることにしました。オンラインの「子ども発達勉強会」です。

すると、この勉強会に対して私たちの思っていた以上の反響があり、5カ月ほどの間に北海道から沖縄まで120名を超える方にご参加いただき、オンラインで交流することができまし

た。そのほとんどが教育や児童発達の現場に働いておられる皆さんであり、以下の声のように、ビジョントレーニングについて潜在的なニーズが高いことが期待してわかりました。

「これまでいろいろな研修会に参加して学んできたが、日々の支援に行き詰っている」

「教材をたくさん買って実践してみたが、思ったような結果が出なかった」

「ビジョントレーニングが支援の助けになるとは聞くが、実践的な内容を教えてくれる場がなく、自分なりに取り組んでいるが、やはり不安は拭えない」

「誰に学べばいいのか、どこへ行けばいいのかわからない」  
つまり、保護者の皆さんよりもむしろ、子どもの支援現場で働く専門家の皆さんのほうが切実に困っていたわけです。そして、多くの皆さんから、支援現場で役立つような極めて実践的な講座を開いてほしいというご要望、ご期待が寄せられました。こうしたニーズから、私たち



全国から多数参加したZoomでの講座


**従来の支援方法に  
疑問があった受講者たち**

この「プロフェッショナルビジョントレーナー養成講座」にご参加くださった皆さんの職業は本当に多種多様です。

小・中学校の教員（特別支援学級や体育及び一般の教員）、児童発達支援または放課後等デイサービスの事業者及び指導員・支援員、医師、保健師、作業療法士、言語聴覚士、保育士、心理士、スクールカウンセラー、塾経営者、視能訓練士、柔道整骨師、整骨院経営者、スポーツ選手、スポーツトレーナー、ヨガインストラクターなど。いずれも日々子どもたちと触れ合い、そのつまずきの支援方法、解消方法に少なからず疑問をお持ちの方たちばかりでした。

講座は全12回。毎週日曜日の朝9～12時にオンラインでライブ配信をし、後日、受講者専用のサイトに、録画した講座を視聴できるようにしています。テーマは21項目にわたりますが、大まかに分けると講座の回数と同じ12項目になります。

- ①目と身体の仕組みについて
- ②視覚機能について
- ③視覚とメンタル
- ④目と関係する感覚統合
- ⑤原始反射の残存とその弊害に

ついて

⑥ビジョン（視覚機能）のスクリーニング法

⑦教室トレーニングのノウハウ習得


⑧コーチングコミュニケーションとは

⑨コーチングスキルの実践

⑩子どものキャリア形成とキャリアビジョン

⑪ストレス予防の心を整えるメソッド

⑫未来ビジョンとキャリアパス

 個人コンサルでスキル定着 行き詰まり解消

本講座の目的は、受講者には必ずプロのトレーナーとして、ビジョントレーニングの実践者になっていただくことです。そうなるためには、知識だけでなく、トレーニングの実践経験を継続的に繰り返し積んでいただくことで、ノウハウを自分のものとしていただく必要があります。そこに到達するまで、私たちスタッフが全力でサポートさせていただきます。仕組みを考えました。



当会スタジオでトレーニングに励む子どもたちと、左から久保田代表理事、筆者横田、中田トレーナー、吉田トレーナー

毎回の講座は現場ですぐに生かすことができる内容にし、学んだことを次の講座までにそれぞれの現場で試していただきませう。そして、その体験をもって個別にコンサルを受けていただく——こういう仕組みです。

受講後の内容追認、各々の実践現場での気付きや発見のフォロー、または個別の支援案件の課題解決に向けてのアドバイス。

受講者の皆さんが悩んでいた「支援現場での行き詰まり」を解消するには、こうした個人コンサルに重きを置くのが最良の方法で、文字通りの実践的指導に努めています（この個人コンサルの長さによって、本講座は通常1年間、最短でも6カ月間のコースを選択できます）。

個人コンサルでは、ビジョントレーニングの有効なツールの

紹介とその使い方を指導するとともに、実践用の教材やプリントを提供します。そして何より、児童の発達支援活動の現場においてもっとも重要なメンタル面での関わり方、声のかけ方、子どものやる気を促すコーチングスキルなどもアドバイスしています。

次回は受講者の感想と活用状況、その結果について報告させていただきます。